



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.29

地域連携病院②「木下病院」

今回は、徳島の地域医療を長きにわたって支えてきた木下病院をご紹介します。

■ 徳島の地域医療を支える木下病院

木下病院は大正12年に開業し、90年以上の長さにわたり徳島の地域医療を支えてきました。昭和10年からは結核療養所として機能していたこともあり、呼吸器内科の医師が中心に診療を行っています。また外科や整形外科の医師による診療の他、週に1回専門医による糖尿病外来とリウマチ外来も行われており、幅広い医療を提供しています。入院病棟は、一般病床（地域包括ケア病床を含む）と療養病床の両方があるケアミックス型となっており、急性期から回復期、慢性期にかかる幅広いケアを行っています。加えて介護施設やグループホーム、地域の診療所など、医療から介護まで広くサービスを提供しています。

■ リハビリテーション

木下病院では、地域包括ケア病棟を有することから、リハビリテーションに尽力しています。240㎡を超える広いリハビリテーションルームがあり、経験豊かな理学療法士、作業療法士や言語



↑ 充実したリハビリテーションルーム

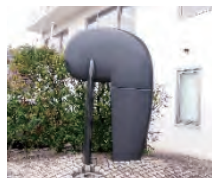
聴覚士が患者さんのリハビリテーションを支えます。

■ 社会貢献の精神

平成23年3月に発生した東日本大震災では、木下病院から災害医療チームを派遣しました。まだ爪痕深い現地において、危険と隣り合わせの医療活動が行われました。甚大な被害を受けた被災者へ惜しめない支援を提供したことに、厚生労働大臣からの感謝状が贈られました。木下病院の社会貢献はこれだけにとどまらず、様々な活動に対して多くの感謝状や表彰が贈られています。また、徳島県立総合看護学校の実習生の受け入れも行い、医療人教育へも尽力しています。

■ 人を支える病院

木下病院の玄関には「人」をモチーフとしたオブジェが設置されています。大きなこのオブジェは「訪れた患者さんの心身を支え、安心安全の医療を提供していきたい。」という木下院長の精神を現しています。



↑ 彫刻家速水史朗の作品「人」

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

医療法人 喜久寿会
木下病院
徳島県徳島市南末広町4番70号
tel.088-622-7700

■ 説明は
木下成三（きのした・せいぞう）
院長（右）
薦ヶ巣千代子（とびがす・ちよこ）
総看護師長（左）

